

ES/1 NEO

MFシリーズ

V05L22R3

Release News Letter

IBMシステム

目次

【お知らせ】

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて
PC製品 サポート終了のお知らせ

【HOST】

資源使用量比較一覧	
リリースニュースレター機能一覧 プロセッサ別	... 1
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	... 2
MF-ADVISOR	... 3
MF-支援ライブラリー	... 4
MF-eASSIST	... 5



株式会社 アイ・アイ・エム

本リリースニュースレターは、V05L22R3 のリリース内容をまとめたものです。過去のリリース内容につきましては、プロダクトメディア (x:¥Rnl) 内のレターをご参照ください。

改版履歴

日 付	版数	内 容
2025/8/1	1	V05L22R3 リリース

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて

各バージョンの通常サポート期間はリリースより 30 ヶ月間です。

バージョンはバージョン、レベル、リビジョンからなり、レベルを基準とします。後継リビジョンのリリースに伴い、旧リビジョンのサポートは延長されます。



図. 製品ライフサイクルのイメージ

<バージョン（バージョン・レベル・リビジョン）の確認方法>

ES/1 実行ログにて確認できます。

例) V05L21R3 の場合

V 0 5 L 2 x R x

バージョン レベル リビジョン

LICENSEE	-----	TRIAL USER
EXPIRATION DATE	-----	2022/5/31
VERSION/LEVEL/REVISION	----	05. 21. 03

<今後のサポート予定>

今後のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース時期	サポート終了予定時期
V05L22R3	2025 年 8 月	2028 年 2 月 29 日
V05L22R2	2025 年 2 月	2028 年 2 月 29 日
V05L22R1	2024 年 2 月	2028 年 2 月 29 日
V05L21R3	2023 年 2 月	2025 年 8 月 31 日
V05L21R2	2022 年 2 月	2025 年 8 月 31 日
V05L21R1	2021 年 10 月	2025 年 8 月 31 日

<通常サポート中とサポート終了後の違い>

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正パッチは、最新リリースまたはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正パッチを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可※
不具合修正パッチの提供	可	不可

※ナレッジベースでの調査となります。

<バージョンアップのお願い>

通常サポート期間を終了したバージョンについては、限定的なサポートのみの提供となります。最新バージョンへのバージョンアップのご検討をお願いいたします。

PC製品 サポート終了のお知らせ

現在、MF-eASSIST でサポートしています次のオペレーティング・システム、アプリケーションを、下記の期日でサポート終了とさせていただきます予定です。

<サポート終了オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 10 サポート終了時期：2026 年 10 月末

<サポート終了アプリケーション>

Microsoft® Excel2016 / Word2016 サポート終了時期：2026 年 10 月末

Microsoft® Excel2019 / Word2019 サポート終了時期：2026 年 10 月末

V05L22R2 では、MF-eASSIST の対象環境は次の通りとなります。

<オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 10 (2026 年 10 月末まで)

Microsoft® Windows® Server 2016

Microsoft® Windows® Server 2019

Microsoft® Windows® Server 2022

Microsoft® Windows® 11

<アプリケーション>

Microsoft® Excel2016 / Word2016 (2026 年 10 月末まで)

Microsoft® Excel2019 / Word2019 (2026 年 10 月末まで)

Microsoft® Excel2021 / Word2021

Microsoft® Excel2024 / Word2024

Microsoft® 365 Apps (Office®365)

Microsoft Edge

Google Chrome

.NET Framework 4.6.2 以上

ES/1 NEO MFシリーズ V05L22R3 資源使用量比較一覧

本資料は、ES/1 NEO MFシリーズ V05L22R3 と、以前のリビジョン（V05L22R2）との資源使用量比較一覧です。

CPU	以前のリリースと比較し、CPU時間が1割以上増加することがある場合、●としています。
	この結果は、入力されるデータにより異なります。
STG	以前のリリースと比較し、使用仮想記憶域が増加した量を示します。
	この結果は、入力されるデータには関係ありません。
データ	以前のリリースと比較し、上記本体の増分以上に使用仮想記憶域が増加することがある場合、●としています。
	この結果は、入力されるデータにより異なります。

		V05L22R2 vs V05L22R3		
		CPU	STG	
			本体 (KB)	データ
MF-ADVISOR	CPECNVRT	—	0	—
	CPEPRT00	—	0	—
	CMOSPRTO	—	0	—
	HIB1CHK0	—	0	—
	CPEREG00	—	0	—
	SMFPRT00	—	0	—
	CPEDSN00	—	0	—
	RAIDPRTO	—	0	—
	RAIDCNFO	—	0	—
	VOLLST00	—	0	—
	CPEMQS00	—	0	—
MF-MAGIC	CPEDBAMS	—	0	—
	BOXSYS00	—	0	—
	BOXWLC00	—	0	—
MF-SCOPE	JOBANLST	—	0	—
	JOBMONTH	—	0	—
	JOBDTL10	—	0	—
	AUDITPRT	—	0	—
	AUDITMON	—	0	—
MF-PREDICT	PNAVIADT	—	0	—
	PRDIOS00	—	0	—
	CPEDSN00	—	0	—
MF-AUDIT	CPEREG00	—	0	—
	AUDITPRT	—	0	—
	DSNGSV00	—	0	—
MFシリーズ 支援ライブラリ	AUDITMON	—	0	—
	PNAVIADT	—	0	—
	CPEDASD0	—	0	—
	PAGPRT00	—	0	—
	CPEVOLGP	—	0	—
	CPETAPE0	—	0	—
	CPEVTS00	—	0	—
	CPEVSM00	—	0	—
	DSNGSV00	—	0	—
	TSSCSV00	—	0	—
	CPETS700	—	0	—
	JOBDSNVC	—	0	—
	VOLCHK00	—	0	—
MF-eASSIST	CPEDASD0	—	0	—
	PNAVICEC	—	0	—
	PNAVJOB0	—	0	—
	PNAVJOB1	—	0	—
	PNAVIVSP	—	0	—
	PNAVIMS	—	0	—
	PNAVIMSL	—	0	—
	PNIMSFPO	—	0	—
	PNAVC1CS	—	0	—
	PNAVIVTS	—	0	—
	PNAVIVSM	—	0	—
	PNAVIB2	—	0	—
	PNAVIADT	—	0	—
	PNAVTS70	—	0	—
	PNCICSST	—	0	—
MF-ZVM	PNAVISRM	—	0	—
	ZVMPT00	—	0	—
MF-WebSphere	ZVMCSV00	—	0	—
	CPEWAS00	—	0	—
MF-DB2	CPEDB200	—	0	—
	DB2TRC00	—	0	—
MF-CICS	CICSPRT0	—	0	—
	CICSTRC0	—	0	—

※本体の使用仮想記憶域の増加が大きい場合、該当の箇所の色を付けて表示します。

例.	MF-ADVISOR	CPEPRT00	—	124	—
		CMOSPRTO	—	4	—

注意：(1) 本資料は弊社環境（IBM環境）での結果に基づいています。環境により異なる場合がありますので、参考資料としてください。
(2) 実行時に仮想記憶領域不足が発生する場合、OVER16機能をご使用ください。

【OVER16機能 指定方法】実行するプロセスのJCLに次のような指定を追加してください。
REGIONサイズの指定は、お客様の環境に応じて変更してください。

//SHELL EXEC PGM=CPESHELL, REGION=1024M, PARM=PARM	<=追加・変更
//SYSPRINT DD SYSOUT=*	
//SYSUDUMP DD SYSOUT=*	
//SYSUT1 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (10, 5))	
//CPEPARM DD *	<=追加
OVER16=SYMBOL	<=追加
OSTYPE=#OSTYPE	<=追加

OVER16機能の詳細につきましては「ES/1 NEO MFシリーズ 使用者の手引き 共通編（IBM / 富士通 / 日立システム）」
'3.3.2 OVER16機能'をご参照ください。

【HOST】機能一覧 プロセッサ別

既存プロセッサ

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-ADVISOR	CPESHELL	不具合	1	PTF OA66104適用時に不具合						3	522-301
MF-支援ライブラリ	CPETS700	拡張	2	TS7700シリーズ V6.0への対応						4	522-302
MF-eASSIST	PNAVTS70	拡張	3	TS7700シリーズ V6.0への対応						5	522-303

◇表項目の説明

- 非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

【HOST】機能一覧 カテゴリ別

既存プロセッサ

拡張一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-支援ライブラリ	CPETS700	拡張	1	TS7700シリーズ V6.0への対応						4	522-302
MF-eASSIST	PNAVTS70	拡張	2	TS7700シリーズ V6.0への対応						5	522-303

不具合一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-ADVISOR	CPESHELL	不具合	1	PTF OA66104適用時に不具合						3	522-301

非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます

数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます

表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます

スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます

特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

CPESHELL

522-301. PTF OA66104 適用時に不具合

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	OA66104

【現象】

下記条件を満たす SMF レコードタイプ 73（チャンネル情報）を入力した場合、シンボルセット処理において失敗し、異常終了します。

<発生条件>

- ・ PTF : OA66104
- ・ ES/1 バージョン V05L22R2 以前

【原因】

SMF レコードタイプ 73 に出力される CPMF チャンネル測定グループの種類にグループ 4, 5 が追加されます。また、グループ 4, 5 のデータ形式は従来のグループ 1~3 と異なります。実際に CPESHELL で扱うのはグループ 2 のみですが、従来まではグループ毎のデータ形式を区別していませんでした。

【対処】

CPESHELL を改修し、拡張チャンネル・パス・データ・セクションのシンボルセット処理において、グループ 2 以外のデータであった場合には処理を行わないようにしました。

MF-支援ライブラリー

CPETS700

522-302. TS7700 シリーズ V6.0 への対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	TS7700 シリーズ V6.0

TS7700 シリーズ V6.0 のデータに対応しました。

PNAVTS70

522-303. TS7700 シリーズ V6.0 への対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	TS7700 シリーズ V6.0

TS7700 シリーズ V6.0 のデータに対応しました。